龍の音

第48号
PTAだより
たきのおと
大阪府立箕面高校
P.T.A.
箕面市牧落4-8-66
TEL072-721-7091
http://minoh-high.sakura.ne.jp/

真なるグローバルと守破離

学校長　日野田直彦

世界は今、急速なグローバル化と混迷する時代へと突入し始めました。ＡＩの進化によるシンギュラリティが2045年に来るのではないか？とも言われております。そして、日本は急速な少子高齢化が進み、世界でも類を見ない最も進んだ課題先進国になろうとしています。その状況下において、箕面高校としては、どうしていかなくてはならないか？

我々はその大きな変化の潮流の中で、逆にそれをチャンスととらえ、積極的・前向きにチャレンジする人材を育成することをめざしています。おそらく日本は今後急速に難しい局面を迎えることになりますが、それは大きな変化をとらえられる人間にとっては、大きなチャンスがたくさん転がっている、とも言えます。

では、どうすればよいのか？「グローバル化」とは「単に英語が話せるようになる」ことなのか？これは、全くの間違いです。

箕面高校としてのグローバル化とは、文化や民族が違っても「他人の話を聞けること」「自分の意見を丁寧に説明できること」、そして「共有と共感によって、一緒に問題解決をしていくこと」であると考え、それを大切にしていきたいと思っております。そして、本校の特徴である自由な気風を重んじ、自主自律を大切にし、「他」を排除することなく、それを尊重してこそ、真なるグローバルに近づいていくと信じております。

そのためには、分厚い「基礎」が大切です。特に「守破離」という言葉がありますが、まず、「一人前の大人」となるために、大人としての作法を覚えていくことこそが、今後の成長の伸び代につながっていきます。

具体的には、①生活習慣を整えること、②食生活に偏りがないこと、③時間を守ること、ではないでしょうか？特に遅刻や提出物など、大人になった時に最も大事である「信用」を勝ち取ることは、世界共通のルールです。基礎的なことだからこそ、大人になる過程である高校時代にしっかりと定着させてほしいと願っております。「守破離」とは日本の武道・芸能の世界の言葉です。「型を守り、型を破り、型から離れる。」もう少し具体的に言うと、『型（基礎基本）をまず身に着け、それを自分なりにアレンジし、最後はその型から自由になる。』

変化の大きい時代だからこそ、まずは基本に忠実になり、徹底した分厚い「基礎」がなくてはいろいろな変化に対応できません。それはまさに「建物」と同じかもしれません。「箕面高校としてのグローバルな人材」になるためにも、箕面高校において分厚い「基礎」を身に着けてほしいと願っております。そのために全教職員一丸となって日々努力していきます。ＰＴＡとの連携があって箕面高校は発展してきました。ぜひ今後ともよろしくお願いします。

いいご縁に恵まれて

PTA会長　有元英也

平成 29 年度 PTA 会長の有元英也です。

私の箕面高校との関わりは、今から5年ほど前、ダンス部 16 期の子どもたちとの出会いがスタートだったのかもしれません。全国大会初優勝！「へー、箕面高校ダンス部ってすごいんだ」と人ごとのように感じていた頃です。ダンス部だった娘から「お父さん、先輩たちアメリカ大会出場決まったんだけど、お金のことで全員行けないみたいやねん。なんとかできない？」って話がありました。

「えー！」PTA役員をしてたので、他の役員さんに相談したら、「保護者会作って、公演会して、募金集めたらイイやん！」って。娘たちのためだし、動き出すことにしました。

9月に保護者会設立、12月にグリーンホールで第一回箕面高校ダンス部公演会開催！

日程決めてからがもう大変！　保護者会の役員の方々と毎週仕事帰りに打ち合わせ、休みの日は、保護者の方に集まっていただき、役割分担、チケット販売、ポスター作り、プログラム作成、当日の係などなど。

ダンス部の子どもたちも親も初めてづくしだったので、もめごとや悩み事もいろいろありました。でも『絶対成功させて、みんなでアメリカに行く』という目標があったので、やっていけたと思います。

結果は大成功！　公演終わって泣きました！　アメリカ大会みんな行けました！　帰ってきました！　泣きました！　嬉しかった！

月日が流れ、この５月のダンス部公演を観にいき、16 期の子らが私を見つけて、覚えていますかと来てくれました。ほんのり嬉しかった！

いいご縁に恵まれ過ぎてたのかもしれません。私はほんとに箕面高校が大好きです。

やれることはなんでもやって行く！　これからもよろしくお願いします。

進路状況報告

今春の入試結果と大学入試制度の変化

進路指導部長　寺下　公章

今春の大学入試は、全国的には昨年に続き、大学入試センター試験の志願者が増加し、その現役率も増加しました。また、入学定員厳格化による受験生の不安からか一人あたりの出願校が増え、私立大学の志願者数が上位６大学で10万人を超え、関関同立も前年比106％の志願者数となりました。しかし、合格者数は前年比92％というように厳しい入試でした。

本校の結果は、国公立大学の合格者は53名、そのうち、現役生は大阪大学に２名、神戸大学に１名が合格しました。今春の厳しい入試状況のなかで同志社大学に例年の２倍以上の現役生が合格しました。また、海外の大学にチャレンジした生徒ものべ17名が合格しました。大きな夢を叶えようと再チャレンジした既卒生は、大阪大学に２名、神戸大学に１名が合格をしました。「先輩に続け」と現在も60名近い生徒が大きな夢を叶えようと来年の大学入試をめざして頑張っています。

ＰＴＡ総会でも報告しましたが、「高大接続改革の進捗状況について」の発表からもわかるとおり大学入試が大きく変化します。「一般入試における主体性を含む多面的総合的評価」の調査・研究・開発も始まっています。また、国立大学では推薦・ＡＯ入試での入学者数を定員の30％を目標にしています。英語に関しては「聞く」「話す」「読む」「書く」の４技能化になります。これらは、現中学３年生の受験時で変わるのではなく、すでに各大学の入試が変化しています。本校でも３年生には「４技能の英語検定試験」の受検を推奨しています。大学入試での活用は、「出願要件」「英語の得点に換算」「英語の得点に加点」と様々ですが、生徒たちにとってプラスになることは間違いありません。これらの変化は大学入試が、当日の試験だけでなく、高校での学び（成績）を評価に加えるようになることを示しています。

ある調査では85％以上の保護者の方が「受験をしたことで子どもが成長した」と答えています。生徒たちが最後まで諦めることなく「今しかできない挑戦」に思いっきり臨むことができるように、今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（1列目）花川 3-10　森下 3-9　梅村徹 3-7・3-8　笠原 3-6　池谷 3年主任　宮城 3年主任　日野田　中川　藤田　馬渕 3-5　園友 3-4　末友 3-4　高木宏 3-2　高柳 3-1
（保健体育）赤藤 2-5　谷阪 1-2　谷本　和田　梶田
（2列目）松田 2年主任　佐々木隆 1-10　十和　内藤　山崎　真島 1-9　松平
（3列目）川本　牧野　尾堂　藤原 1-7　大西智 2-6　三宮 1-3　谷
（4列目）黒田　教務部長　野　水谷雅 2-1　城　奥山 1-5
（5列目）Cathy Powell　寺本　進路指導部長　十和 2年主任　松田 2年主任　谷本　奥山
（6列目）高木宏 1-1　小松 1-1　木村祐 2-3　山中 2-9　打海 1-6　桐原 2-4　鈴木　佐田　岡野（大文）
（7列目）Lisa Marie　大島悦　吉田　町田　生徒会部長　大西寛 1-4　加藤祐 1-4　川邑　菊谷　磯原 2-8　落合 2-7　大島晶 1-8　田中俊 2-7　田中俊 1-8
（8列目）地歴公民　国語　英語　数学　養護　保健体育　数学　理科　英語　理科　国語　家庭　地歴公民　英語　国語　地歴公民　情報　地歴公民　地歴公民　地歴公民　地歴公民　英語　食育栄　国語　英語　理科　国語　理科　理科　理科　美術　数学　英語　理科　国語　数学　英語　国語　英語　英語　英語　地歴公民　数学　理科　地歴公民　地歴公民　国語　数学　英語　地歴公民　地歴公民　地歴公民　地歴公民　国語　地歴公民　国語　理科　国語　国語　国語